

高議第 180 号

令和 6（2024）年 3 月 26 日

高根沢町長 加藤公博 様

高根沢町議会議長 神林秀治

町政運営に対する提言について

常任委員会で行った日常調査の内容を、第 424 回高根沢町議会定例会（3 月議会）にて報告いたしましたが、提言について改めて文書で提出いたします。

この提言に対する回答は不要ですが、提言の内容を踏まえて今後の町政運営に取り組まれますようお願い申し上げます。

■まちづくり常任委員会

○土地利用の見直しについて

市街化調整区域及び農業振興地域内の JR 駅周辺において、住宅等の開発を可能とし、地域の活性化に寄与すべきである。

そのために、土地利用の見直しに必要な、駅周辺地域の住民意向調査、駅周辺地区都市再生整備計画や各種計画の作成、必要な組織の立ち上げを町主体で行い、地域住民が住宅地等の開発に取り組めるようにすること。

○自治会加入対策について

自治会加入率減少の歯止めのためには、住民に自治会へ加入するメリットを感じてもらう必要がある。

そのために、高根沢町自治会連合会が主体となり取り組んでいる「宮パス」や「さくら PASS」と同様の制度の導入のために、必要な費用の負担や、ホームページの構築などの事務を担うなど、積極的な支援を行うこと。

■くらしづくり常任委員会

○学校給食の充実

食物アレルギー対応には十分かつ細心の注意を払うと共に、より個別化した対応と情報共有をすること。

物価高騰への支援策を検討すること。

地産地消を今後も推進していくこと。

児童生徒の声を常に聴き取りながら、献立に反映できるように努めていくこと。

○学校における不登校の問題

インターネットを駆使した新しい学びのあり方や、発達障害やヤングケアラーへの対応など、新しい課題に対する調査・検討を継続していくこと。

「ひよこの家」の老朽化に対応するため、新設または移転について検討を進めていくこと。

「ひよこの家」の施設管理について、ボランティアを活用する方策を検討すること。

○地域での見守り強化、地域サロンの充実

サロンがない地区への設置については、地元のニーズをよく考えながら検討していくこと。

サロンの活動に際して交通事故などに遭う場合あることを考慮した対応が必要である。

生活支援協議体の区割りの見直しについて、検討していくこと。

○ゼロカーボンシティの構築

ゼロカーボンシティの実現を目指すために、町民にわかりやすく周知を図ること。

町職員全員の意識改革を促しながらゼロカーボンシティ実現を目指すこと。

具体的な対応として、以下の内容を検討すること。

- ①全公用車のEV車への漸進的な転換
- ②ゼロカーボンシティの趣旨をイメージさせたロゴの作成と、そのロゴを表記したエコバックの作成・販売
- ③新庁舎の建設に伴う、庁舎敷地内への町民が利用できるEV車専用の充電ステーション(2~3台分)の設置
- ④住宅用太陽光発電・蓄電システム設置費補助金の継続
- ⑤観光や教育、農林業分野でのエコ意識の向上を目指した具体的な対応